

米軍機が館野鉄工所に墜落して炎上し、五名の方が死亡、三名の方が重軽傷を負うという痛ましい事故から、今年で六十年となりました。

改めて亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、市として機会あるごとに航空機の安全対策を訴え続けていくところでございます。

平和で穏やかな世界を次世代に引き継ぐことは、今を生きる私たちに課せられた使命であると強く感じております。昭和六十年に平和都市を宣言した本市はこれまで、平和に関するさまざまな取り組みを実施してまいりました。

平成五年からは平和都市推進事業実行委員会の皆様とともに、平和を見つめるパネル展や、広島への平和学習派遣、語り部の派遣、映画上映会など、平和について考えていただくきっかけとなるような事業を企画・実施しているところでございます。

今後も基地を抱える自治体として、市民が安心して暮らせる静かなまちを目指し、基地を巡るさまざまな問題の解決に向けて、周辺市と共に粘り強く取り組んでまいります。

本日の「館野鉄工所墜落事故慰霊祭」の開催にあたり、改めてご遺族の皆様のご平安を祈念申し上げ、私の挨拶といたします。

令和六年九月八日

大和市長 古谷田 力

米軍機が舘野鉄工所に墜落するという痛ましい事故の犠牲となられた方々の御霊に謹んで哀悼の意を捧げますとともに、負傷された方々と関係されるすべての皆様に心からお見舞い申し上げます。

基地を抱える自治体には、今後市民の皆様が安心して、毎日を穏やかな気持ちで暮らすことができるよう、引き続き安全確保と問題解決に向けた努力が求められております。

慰霊祭にあたりまして、御霊の安らかなることを深くお祈り申し上げますとともに、ご列席の皆様方の今後のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

あ おおき まさし

大和市議会議長

青木 正始